

才三回定期委員会(3月30日10時 動力車会館)を圧倒的に成功させよう。

全組合員の皆さん。本日開催される動労千葉第三回定期委員会において、われわれは、第四回定期大会以降約四ヶ月間の闘い、とりわけ三月ジェット決戦ストの画期的成果と意義を全組合員のものとして確立し、切迫した大量報復処分攻撃を粉碎し、八一春闘勝利・国鉄三五万人体制攻撃粉碎へさらに団結を強化して闘い抜こうではないか。

第三回定期委員会でかちとるべき課題は何か

第三回定期委員会でかちとるべき第一の課題は、三月ジェット決戦ストライキ闘争貫徹の画期的な意義と成果を全体で確認し、打ち固めることである。

三月決戦ストの第一の意義は、わが動労千葉が三里塚・反合を基軸とした路線の優位性と正義性をもって「二〇二億円スト損賠問題」「三五万人体制攻撃」の下で苦闘する国鉄労働者の魂を揺り動かす歴史的闘いとしてこの闘いを貫徹し抜いたことである。

すなわちこの闘いは、三里塚二期着工阻止・空港粉砕への大きな突破口を切り抜き、そして何よりも国労千葉地本の仲間の決起や全国の心ある動労組合員からの激励や共感の声にも明らかによりに国鉄労働運動・日本労働運動の戦闘的再生の胎動・高揚の第一歩を作り出す闘いであったのである。

第二に、動労千葉一三〇〇組合員が一旦総決起するならば、首都圏国電はもとより、全国を震撼させる底力を持っていることを示し切ったことである。

第三に、三月ジェット決戦スト貫徹によって反

計報

渡辺高志氏(館山支部・車両検査係・五四才)は、脳内出血のため三月二十七日一時二十分急逝されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し御冥福をお祈り致します。

尚葬儀は、左記日程で行われます。

通夜 三月三十一日十九時

告別式 四月一日十二時

場所 勝浦市興津二五三五(自宅)

上総興津駅下車徒歩十分

動秋山局長の動労千葉つぶしのための強権的・差別労務政策に痛打を浴びせ、その破産を満天下に明らかにしたこと。

第四に、権力・国鉄当局一体となった動労「本部」革マル反動分子のスト破り集団としての腐り切った反動的・反労働者の正体をあますところなくあばき出し、動労大改革運動の大きな前進をかちとったことである。

第三回定期委員会でかちとるべき第二の課題は、以上の三月ジェット決戦の全成果と意義を打ち固め、一層強固な組織体制をもって大量報復処分粉碎・八一春闘勝利・国鉄三五万人体制粉碎へ一三〇〇組合員一丸となって闘い抜く意志統一をかちとることである。

われわれが三・六全線ストライキを闘い抜いているその日に、塩川運輸相は、この三月決戦ストに対する恐怖と憎悪をむき出しにして「動労千葉への嚴重処分」を指示し、近日中にも大量報復処分攻撃がなされる情勢にある。

八一春闘を「ストなし春闘」として収束させ、一方で軍事大国化・憲法改悪攻撃をますます激化させている政府・支配階級は、わが動労千葉の三月ジェット決戦ストが労働者・人民の反撃の一点の火花となることを最も恐れているのである。

われわれは、大量報復処分を許さず、八一春闘勝利・国鉄三五万人体制粉碎へさらに広範な労働者・人民との支援・連帯を作り出しつつ闘い抜こうではないか。

おしらせ

浅田光輝氏、石橋政次氏はじめ、元総評議長・市川誠氏、元総評事務局長・岩井章氏等各界指導者の方々の「よびかけ」で発足した「動労千葉ジェット燃料輸送阻止闘争支援基金」運動(本紙第七〇〇号・三月二七日付にて報告)に、このたび元動労副委員長・中江昌夫氏が加わり、総計二一名で更に大きな層の運動に発展させていくことになりました。

三月ジェット闘争の全成果をうち固め 大量報復処分粉碎・81春闘勝利へ

三里塚・ジェット闘争貫徹「国鉄35万人体制」粉碎!